

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】<http://japan.renesas.com/inquiry>

## ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事事務の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。  
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット  
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）  
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

## Tiny/SLP E7 エミュレータ 使用上の注意事項

Tiny/SLP E7 エミュレータには、以下の注意事項があります。

### (1)セットアップツールについて

- ・ セットアップツール使用中に、画面で指示している時以外は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。E7 エミュレータの破壊につながります。
- ・ セットアップツール起動時、セットアップツール用 USB ドライバの Plug & Play 処理が始まります。ドライバは CD の¥Drivers¥USB¥<Windows 種類> にありますので、Windows の指示にしたがって指定してください。
- ・ ユーザーズマニュアル デバッガ編の「3.8 E7 エミュレータのセットアップ」の(5)、(6)の順序が、実際は逆になっております。まず(6)でご説明しているダイアログボックスが表示され、次に(5)でご説明しているダイアログボックスが表示されます。
- ・ E7 本体のスイッチを“0”にしたまま HEW を起動した場合、HEW が起動しません。必ずスイッチを“1”にし、一旦 USB ケーブルを抜いてください。

### (2)起動方法について

新規プロジェクトを作成する場合に開かれる、[新規プロジェクトワークスペース]の CPU 種別で H8S,H8/300 を選択した場合は 2 種類、M16C を選択した場合は 1 種類のエミュレータ名が Step7 画面で表示されます。

H8/300H Tiny, H8/300H SLP シリーズをご使用の場合、Tiny/SLP E7 SYSTEM 300H を、  
H8/300L SLP シリーズをご使用の場合、Tiny/SLP E7 SYSTEM 300L を、  
R8C/Tiny シリーズをご使用の場合、R8C E7 SYSTEM を選択してください。

### (3)チュートリアルについて

チュートリアルプログラムのインストール先フォルダは、ご使用のチップによって異なります。

H8/300H Tiny, H8/300H SLP シリーズをご使用の場合、チュートリアルプログラムのフォルダは以下です。

<Windows ドライブ>¥WorkSpace¥E7¥H8¥Tutorial

H8/36049F チップをご使用の場合、チュートリアルプログラムのフォルダは以下です。

< Windows ドライブ>¥WorkSpace¥E7¥H8¥TutorialADV

H8/300L SLP シリーズをご使用の場合、チュートリアルプログラムのフォルダは以下です。

< Windows ドライブ>¥WorkSpace¥E7¥H8¥TutorialSLP

R8C/Tiny シリーズをご使用の場合、チュートリアルプログラムのフォルダは以下です。

< Windows ドライブ>¥WorkSpace¥E7¥ E7R8C¥TutorialR8C

また、ユーザーズマニュアルのチュートリアルに記載しているアドレス値などは、H8/300H Tiny シリーズをご使用の際のアドレスです。

その他のシリーズをご使用の際は、マニュアルに記載されているアドレス値と異なります。実際のチュートリアルプログラムに適應されるよう、読み替えてください。

(4)H8/36902F,H8/36912F ご使用時の注意事項

H8/36902F,H8/36912F はオンチップオシレータをもっています。デバッグ中にフラッシュメモリエリアの書き換えが発生した場合、外部クロックを使用している場合、オンチップオシレータに切り換えます。ご使用になる場合、E7 エミュレータ接続時の周波数選択設定値に"8MHz"を入力してください。

(5)R8C/Tiny ご使用時のデバッグについて

- (a) "pushc FLG"命令をステップ実行した場合、"popc FLG"で復帰した FLG の IPL (割り込み優先レベル)が"0"になります。
- (b) "LDC src,FLG"命令をステップ実行した場合、I フラグがクリアされない場合があります。
- (c) "STC FLG,dest"命令をステップ実行した場合、FLG レジスタの bit6 がクリア、bit1 がセットされた値が保存されます。

上記該当命令に対して以下の操作は行わないでください。

- ・ブレークポイント(ハードウェアブレーク、ソフトウェアブレーク)設定
- ・ステップイン、ステップオーバー、ステップアウト実行

(6)R8C/Tiny 「カーソル位置まで実行」機能ご使用時の注意事項

「カーソル位置まで実行」機能はイベントブレークを使用して実現しています。したがって、「カーソル位置まで実行」を行った際、設定してあるイベントブレークは全て無効になります。ただし、PC ブレークは全て有効のままです。

(7)H8/36077F ご使用時の注意事項

H8/36077F はオンチップオシレータをもっています。デバッグ中にフラッシュメモリエリアの書き換えが発生した場合、外部クロックを使用している場合、オンチップオシレータに切り換えます。ご使用になる場合、E7 エミュレータ接続時の周波数選択設定値に"10MHz"を入力してください。

-以上-